

第101期のご報告

(2021年度)

2021年4月1日から2022年3月31日まで



Investor 株主・投資家の皆さまへ Express

小田急電鉄株式会社

平素より小田急グループに対する格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第101期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の業績等につきましてご報告申し上げます。

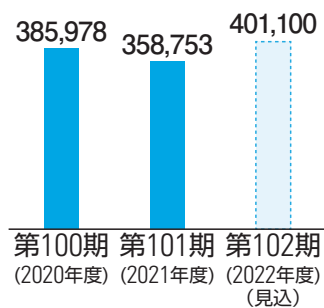
株主の皆さまにおかれましては、今後もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長 星野晃司

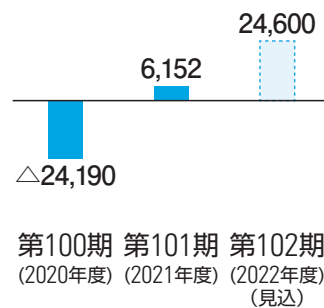


連結業績ハイライト (単位：百万円)

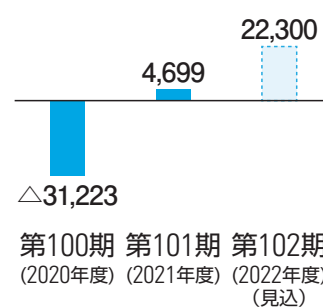
営業収益



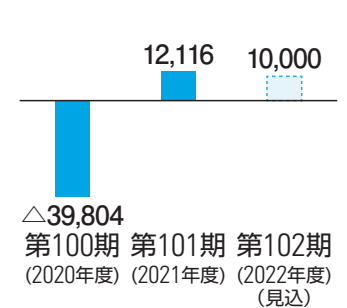
営業利益または営業損失(△)



経常利益または経常損失(△)



親会社株主に帰属する 当期純利益または当期純損失(△)



次期の配当予想について

第102期(2022年度)においては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、不透明な経営環境が継続することなどから、誠に遺憾ではございますが、中間配当は見送りとさせていただくことを予定しております。しかしながら、期末配当は、株主の皆さまへ安定的な利益配当を行う観点から、前期実績と同額の1株につき10円とさせていただくことを予定しております。

17年間にわたるご愛顧に感謝申し上げます。

2005年3月に箱根観光専用特急として就役した特急ロマンスカー・VSE。
シルキーホワイトの洗練された外観、広々とした室内や、
展望席・大型窓からのダイナミックな風景等に多くのご支持をいただきまいました。
約17年にわたり、2編成で延べ600万km超を走行し、
この間に約2,000万人のお客さまにご乗車いただきまいましたが、
車両の経年劣化等に伴い、本年3月12日のダイヤ変更とともに定期運行を終了いたしました。
今後は臨時のイベント列車等での運行を継続し、2023年秋頃に引退する予定です。



感謝をこめて!
Special Thanks & Forever!

VSEの歴史や
イベント等の
情報はこちら



VSEの特長

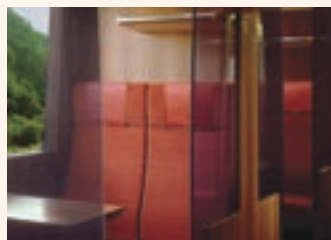


お客さまからのご要望や、リゾート特急としての魅力向上のため、HiSE(10000形)以来約18年ぶりに復活した展望席。



VSEは、建築家・岡部憲明氏による斬新なデザインに加え、数多くの新技術を搭載し、当社のフラッグシップとしてデビューいたしました。ラストランまでの間、臨時のイベント列車等での運行の際は、ぜひこれらの特長にご注目ください。

"Vault(ヴォールト(英)=ドーム型の天井、天空、空間の意)Super Express"の愛称の由来となった、高さ2m55cmのドーム型の天井。



ロマンスカーでの旅行の魅力を一層高めるため、半個室感覚を味わえるサルーン席を3室設置。



1つの台車で2車両の連結部を支える連接台車は、曲線通過時の揺れを抑え、乗り心地の向上に寄与。

歴代の特急ロマンスカー ～VSEに至るまで～



VSE (50000形)

2005年就役 箱根観光専用のロマンスカーとして、車窓の風景を存分に楽しめるよう展望席を復活させ、居住性や乗り心地向上のため、さまざまな新技術を採用した。2022年定期運行終了。



EXE (30000形)

1996年就役 乗車人員が588人となり、従来比で約3割アップした。また、6両と4両に分割することで多彩な運行が可能となり、観光、通勤、ショッピング等の足として現在も利用されている。



RSE (20000形)

1991年就役 JR御殿場線への直通運転に対応した車両。当社初の2階建て構造の客席が導入され、オーシャンブルーとオーキッドレッドの爽やかなカラーが印象的だった。2012年引退。



HiSE (10000形)

1987年就役 当社初のフルハイデッカー車両で眺望性に優れ、ホワイトを基調にワインレッドを配した斬新なカラーリングはロマンスカーのイメージを一新した。2012年引退。

SEからRSEまでの5車種については、当社線海老名駅最寄りの「ロマンスカーミュージアム」にて常設展示中です。時代を超えて愛される歴代ロマンスカーが勢ぞろいするギャラリーへ、ぜひご来館ください。

「ロマンスカーミュージアム」に関する情報はこちら



SE (3000形)

1957年就役 高性能特急専用車両として登場し、当時の狭軌鉄道世界最高速度145km/hを達成した。1992年引退。



NSE (3100形)

1963年就役 SEをベースに運転席を2階に上げることで、当社初となる展望席を実現した。1999年引退。



LSE (7000形)

1980年就役 流線型や展望席といったNSEの特長を継承しつつ、ラグジュアリー(豪華さ)を追求した車両。就役以来、2018年まで長きにわたり運用された。

セグメント別の概況

運輸業

二度の緊急事態宣言による外出自粛等の影響を受けたものの、当社鉄道事業において、輸送人員は定期が+5.4%、定期外が+19.4%と、それぞれ前期を上回ったことなどから、増収・増益となりました。

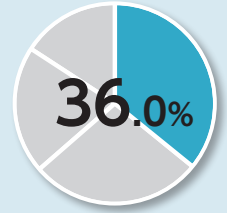
営業収益

131,207百万円
(前期 116,230百万円)

営業利益または営業損失(△)

△5,491百万円
(前期 △25,937百万円)

売上高構成比



流通業

百貨店業において、2020年4月に発出された緊急事態宣言に伴う臨時休業の反動等により利用者数は回復したものの、会計方針変更の影響により減収となりました。一方、営業利益は会計方針変更による影響を受けていないため、増益となりました。

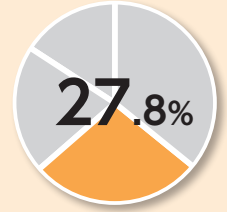
営業収益

100,853百万円
(前期 157,685百万円)

営業利益または営業損失(△)

1,695百万円
(前期 △1,741百万円)

売上高構成比



不動産業

不動産分譲業において、土地やマンションの販売が好調であったことや、不動産賃貸業において、2020年4月に発出された緊急事態宣言下での一部商業施設の臨時休業に伴う賃料減免の反動等の影響があったことから、増収・増益となりました。

営業収益

80,946百万円
(前期 72,872百万円)

営業利益または営業損失(△)

18,570百万円
(前期 16,459百万円)

売上高構成比



その他の事業

二度の緊急事態宣言による外出自粛等の影響を受けたものの、ホテル業において、シティホテルの稼働が前期に比べ回復したことや、レストラン飲食業において利用者数が回復したことなどにより、増収・増益となりました。

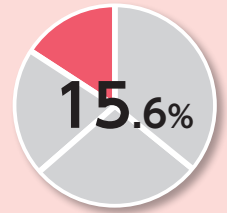
営業収益

74,143百万円
(前期 68,131百万円)

営業利益または営業損失(△)

△8,668百万円
(前期 △13,020百万円)

売上高構成比



株主さまアンケートへのご協力をお願い

アンケート実施期間

2022年7月31日まで

※以下のURLからもアクセス可能です。

<https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1654068836yBubEVuR>

アンケートは
こちらから
アクセス！



アンケートにご協力いただいた株主さまの中から抽選で100名さまに、**QUOカード(500円分)**をプレゼントいたします。
なお、本アンケートは、当社の株主さまを対象としております。**当社の株主さま以外の方がご回答されても、QUOカードプレゼントの対象外**となりますので、ご了承ください。

ご注意事項

- アンケート回答に際してご入力いただいた情報は、IR活動の充実に向けて参考とさせていただきますが、QUOカードのご送付に必要な範囲のみで利用いたします。
- 当選者の発表につきましては、QUOカードのご送付(2022年9月下旬発送予定)をもって代えさせていただきます。なお、QUOカードは株主名簿に登録されている住所にご送付いたします。
- 抽選結果についてのお電話でのご確認はご遠慮ください。

株主優待制度のご案内

500株以上保有の株主さまに、半期に1回保有株式数に応じた優待乗車証のほか、小田急グループ150以上の店舗・施設でご利用いただける優待割引券をお送りいたします。

優待乗車証と優待割引券はお手元に届いたときからご利用いただけます。

※掲載している株主優待制度は一例です。株主優待制度の詳細に関しては、当社ホームページ「株主の皆さまへ」をご覧ください。
※一部割引除外となる場合がございます。また、優待の内容については変更する場合がございます。

500株以上の株主さまの特典



保有株式数に応じた優待乗車証



小田急グループの店舗等で
ご利用いただける優待割引券

15,000株以上の株主さまの特典



小田急藤沢ゴルフクラブ
最大2,000円割引



小田急西富士ゴルフ倶楽部
最大7,000円割引



カレンダープレゼント
※9月30日時点の株主さまが対象

株主優待制度の
詳細はWebで！



会社概要

設立	1948年6月1日 (前身の小田原急行鉄道は1923年5月1日設立)
本社事務所	東京都新宿区西新宿一丁目8番3号
資本金	603億5千9百万円
発行済株式の総数	368,497,717株
株主数	55,767名
事業内容	鉄道事業、不動産業、その他事業
従業員数	3,758名

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
同総会議決権行使株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告により行う。
ホームページアドレス	https://www.odakyu.jp/ir/koukoku/index.html

役員

2022年6月29日現在

代表取締役社長 専務執行役員	星野晃司	常勤監査役	山本俊郎
代表取締役 専務執行役員	荒川勇	常勤監査役	長野真司
取締役 常務執行役員	端山貴史	監査役	伊東正孝
取締役 常務執行役員	立山昭憲	監査役	林武史
取締役 常務執行役員	黒田聡	監査役	我妻由佳子
取締役 常務執行役員	鈴木滋	執行役員	久富雅史
取締役	中山弘子	執行役員	沓澤孝一
取締役	大原透	執行役員	水吉英雄
取締役	糸長丈秀	執行役員	露木香織
取締役	近藤史朗	執行役員	室橋正和
		グループ 執行役員	菅澤一郎
		グループ 執行役員	井上剛一
		グループ 執行役員	山口淳
		グループ 執行役員	細谷和一郎
		グループ 執行役員	深海尚

第101回定時株主総会決議等ご通知

2022年6月29日開催の第101回定時株主総会において、以下のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

報告事項

- 第101期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
上記事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果についてそれぞれ報告いたしました。
- 第101期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)計算書類報告の件
上記計算書類の内容について報告いたしました。

決議事項

●第1号議案 剰余金の配当の件

原案のとおり承認可決され、第101期の期末配当について以下のとおり決定いたしました。

- 配当財産の種類
金銭
- 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額
当社普通株式1株につき金10円 総額3,655,446,260円
- 剰余金の配当が効力を生じる日
2022年6月30日

なお、当期の中間配当につきましては、外部環境の不透明性から見送りとしており、本議案が原案どおり承認可決された結果、当期の1株あたりの年間配当金は、前期と同額の10円となりました。

●第2号議案 定款一部変更の件

原案のとおり承認可決されました。なお、変更の概要は以下のとおりであります。

- 事業内容の多様化に対応するため、事業目的について「資源・廃棄物管理に関する事業」を追加いたしました。

- 「会社法の一部を改正する法律」(令和元年法律第70号)附則第1条ただし書きに規定する改正規定が2022年9月1日に施行されるため、株主総会資料の電子提供制度導入に備えることから、所要の変更を行いました。
- 執行役員制度の一部見直しに伴い、選定できる役付取締役は会長、社長のみとし、副社長、専務、常務の各役位は執行役員の地位とするため、所要の変更を行いました。

●第3号議案 取締役10名選任の件

星野晃司、荒川勇、端山貴史、立山昭憲、黒田聡、鈴木滋、中山弘子、大原透、糸長丈秀の各氏が再選されるとともに、近藤史朗氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。なお、上記のうち、中山弘子、大原透、糸長丈秀、近藤史朗の各氏は社外取締役であります。

●第4号議案 監査役2名選任の件

長野真司、我妻由佳子の両氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。なお、上記のうち、我妻由佳子氏は社外監査役であります。

以上

第101期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」により、ゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)でお受け取りください。また、銀行等の口座への振込をご指定の方には、「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたのでご確認ください。なお、全ての方に同封いたしております「配当金計算書」は、配当金をお受け取りになった後の配当金額の確認資料としてご使用いただけます(株式数比例配分方式をご指定の方につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください)。